

「新・やまがた農業人」紹介



国重 左門 さん 寒河江市で就農

【出身地】山口県山口市

【就農先】会社員

【就農年度】平成 20 年度(平成 18 年度実践農業研修事業
で1年間研修後、1年間雇用研修)

【経営概要】さくらんぼ 90a、もも 50a、その他果樹 20a
その他作物 30a

山形県での就農の動機や考え方

大阪で会社勤めをしている時、寒河江市出身の妻(妙子さん)と知り合い結婚しました。その当時は農業にはあまり興味がなかったのですが、専業農家の義父の話を聞いているうちに農業をしたくなり、また山形のような環境の良いところで子育てしたいと思い、9年前、家族で寒河江市に移住しました。

農業研修は河北町の先進農家をお願いしましたが、そこでは栽培技術だけでなく、農業経営の考え方や農業をするための体づくり、根性づくりなど、就農に必要なものすべてを教えていただきました。

研修後の就農に際しては、義父の経営には頼らず、独立・自営就農を目指しました。しかし、農地の確保に苦勞し、作り手がいない園地の借地を中心としたスタートとなり、なかなか果実も実ってくれませんでした、初めて果実が実った時の感動は今も忘れられません。現在、果樹農園「青い空」園主として営農していますが、果樹の規模をさらに拡大し、また加工なども導入していきたいと思っています。

また、県内の新規就農者等で構成する「新農業人ネットワーク山形」の副会長を務めていますが、様々な関係機関と協力しながら、これまでの経験を生かしてこれからの新規就農者を支援、育成していきたいと思っています。